

第63回未来教室 渋谷区立臨川小学校

1. 学校名 渋谷区立臨川小学校
校長 土屋康子
2. 住所 渋谷区広尾1-9-17
03-3441-3012
3. 日時 平成26年3月4日(火)
5時間目 13:35~14:30
4. 実施学年 6年生 1クラス(36名)
5. 授業内容 「ヤマト運輸ってどんな会社？」
6. 協力企業 ヤマト運輸株式会社
(講師) 南東京主管支店 教育課
福井健一様、伊禮佳代様、秋山 緑様

当日の様子



未来教室感想

渋谷区立臨川小学校教諭 鈴木 孝

「ヤマト運輸さんは、ただ荷物を運ぶだけじゃなかったね。」

授業を終えた子供たちの一言でした。

授業では、まず、会社の概要や荷物が届く仕組みの説明を聞きました。クイズや映像、ぬいぐるみを使うなどの工夫で、児童の興味関心が持続するように話していただきました。

次に、実際のセールスドライバーさんから話を聞きました。荷物の集配の仕方、労働の厳しさ、労働条件などについても教えていただきました。女性の方でしたので「女性でもあんなに思い荷物を運ぶんだ。」と驚いたり、「自分は力持ちだからやってみようかな。」と思ったりした女の子がいました。お話の中で多くの子供たちの心に強く残ったのは、「この仕事がいいなと思うのは、お客さんに笑顔で『ありがとう』と言ってもらったときです。」「仲間と助け合いながら働いています。」という言葉でした。「子供たちが今まで何となく言っていた「ありがとう」がすごく意味のある言葉に思え、次に荷物を受け取る時も必ず声を掛けようと思ったようです。「仲間」「助け合う」という言葉は、子供たちの生活の中でも多く使われているので、共感できたのでしょう。

最後に、全国のセールスドライバーさんの体験談を映像で見せていただきました。遠く離れている家族から届いた荷物を受け取った時のお客さんの喜ぶ様子、ご高齢の方の家で思い荷物を最後まで運んだ時に感謝されたこと、いつも行く集配地域で、小さな子に「宅急便のお兄さん」と声をかけられた時の気持ちなど、心に響く言葉がたくさん並んでいて、子供たちは、運ばれている荷物だけでなく、その荷物に込められた気持ちに思いを馳せていました。そこには、働く意義を見出している子もいました。

「ヤマト運輸さんの仕事は、荷物を通して心を届ける仕事だと思いました。だから一生懸命に働けるのだと思います。」子供の書いた感想からの一文です。

今回の機会を与えてくださった、ヤマト運輸の皆さん、おやし日本の方々、どうもありがとうございました。